

プログラム・ノート

西村 祐

世界最難関のひとつとして知られるミュンヘン国際音楽コンクールをわずか18歳で制した天才ラデク・バボラーク。その後、ベルリン・フィルやサイトウ・キネンの中から聴こえてくる輝かしくもしなやかな彼の演奏は、時としてホルンという楽器を忘れさせるほど歌に満ち、音楽そのものの魅力を存分に味わわせてくれていた。今ではホルン奏者としてのみならず、指揮者としても経験を積んできたバボラークと若者たちのコラボレーションがどのような化学変化を起こすか期待が高まる。また編成や作品のスタイルもヴァリエティに富んでいるこの演奏会では、新しい室内楽の体験を味わえることも必定である。

ライヒャ：木管五重奏曲 ニ長調 作品91-3

アントン・ライヒャ(アントニーン・レイハ、1770～1836)はブラハ生まれ。10歳の時にドイツに移住、1801年末から08年までウィーンに定住(のちにフランスに帰化)したため、一般的にドイツ読みで表記されることが多い。現在では木管五重奏がよく知られ、また教育者としてパリ音楽院でベルリオーズやリスト、フランクなど多くの弟子を育てた。24曲ある木管五重奏曲は1817年から20年にかけて6曲ずつのセットで出版され、このニ長調は1819年の所産。この編成の特徴でもある楽器相互のやりとりが楽しく、また各奏者の腕の見せどころが随所に作られている。特に第2楽章でのホルンとクラリネットの長いソロやフィナーレの名人芸が聴きどころ。

タファネル：木管五重奏曲 ト短調

ポール・タファネル(1844～1908)はフランス近代のフルート奏者であり作曲家。特に20世紀のフルートにおけるフレンチ・スクール(繊細でニュアンスに富んだ音色、粹な歌い回しが特徴的な流派)の創始者として重要である。1878年に作曲された木管五重奏曲は、全3楽章、20分を超える大曲。ライヒャとは違って主導権を握る楽器が頻繁に入れ替わり、それに伴って素早く移り変わる色彩の変化を堪能できる。珍しく中～低音域を多く使ったホルンの長いソロで始まる第2楽章が白眉。

モーツァルト：ホルン五重奏曲 変ホ長調 K. 407

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756～91)が親しい友人のホルン奏者、ヨーゼフ・ロイトゲープ(1732～1811)のために書いた作品のひとつで、4曲あるホルン協奏曲に先だって、おそらく1782年に書かれた。弦楽器の編成が一般的なものと

違ってヴィオラが2挺なのが特徴で、中声部の響きが充実している。弦の中ではヴァイオリンの音色が際立ち、ホルンとの対話が鮮明である。室内楽的な部分と協奏曲的な要素の両面を持った名品。

パガニーニ：コンチェルティーノ

ニコロ・パガニーニ(1782～1840)は知っての通りヴァイオリンの大ヴィルトゥオーゾだが、今回取り上げられるコンチェルティーノは彼の作品の中では異色のファゴットとホルンをソロに立てたもの。おそらく1831年に、当時著名なフランスのファゴット奏者、アントワヌ・ニコラス・アンリ(1777～1842)のために書かれたが、1985年になってようやく出版された。ロッシーニを思わせる作品で、前半はホルンとファゴットの対話が印象的だが、後半のラストに向けた名人芸の応酬もスリリングである。なおバックのオーケストラはもともとピッコロを含む管楽器や各種打楽器が入った大きな編成だが、今回は弦楽合奏に編曲されたヴァージョンが使われる。

モーツァルト：アダージョ K. Anh. 94 (580a)

全73小節中、前半の28小節までは4つのパートすべて、後半は旋律と一部の合いの手のみがかかれた自筆の断片が残るモーツァルトのアダージョ。今回は空白部分を補い、原曲から移調して演奏される。成立年などは不明で、新全集第6版の楽譜には1789年9月の作曲と記載されているが確証はなく、自筆譜研究のA. タイソンによれば1788年成立とも考えられるという。モーツァルトが想定していた編成もわかっていないが、新全集ではB管クラリネット1本+F管バセットホルン3本とされている。冒頭の旋律は『アヴェ・ヴェルム・コルプス』と同じで、その後には美しくもはかない旋律が続いてゆく。

ドニゼッティ(ルロワール 編曲)：オーボエ・ソナタ ヘ長調

ガエターノ・ドニゼッティ(1797～1848)はオペラの名作で知られるが、器楽曲もかなり残しており、特に19曲ある弦楽四重奏曲には(習作的とはいえ)なかなかの逸品がある。このオーボエ・ソナタはボローニャの友人セヴェリーノ・デグリ・アントニのために書かれた。ピアノとオーボエが全く対等にやりとりする二重奏の形を取り、至るところにオペラ・アリアを思わせる旋律が顔を出す。また大胆な転調が随所に現れるなど、凝った部分もある佳品。今回はバボラークのためにホルン協奏曲に編曲された版が使われる。